



Lufthansa

ルフトハンザのエアバスA350

未来を運ぶ。エアバスA350の機内へようこそ

エアバスA350は、世界最新鋭で最も環境に優しい長距離路線機材です。当航空機は進歩的なエンジン、最新鋭の機材、そして航空力学に沿ったデザインにより、同等機と比べ、燃料（ケロシン）の消費量は25%削減、騒音フットプリントは最大50%低減されています。旅客は、すべての搭乗クラスでルフトハンザの最新の機内プロダクトをご体験いただけます。ルフトハンザのエアバスA350のフライトは、ミュンヘンとデリー、ならびにボストン間のフライトでご予約いただけます。



A350の特長

広々とした機内、より大型のスクリーン、革新的な照明コンセプトなど、新しいA350の特長をぜひご覧ください。



より多くの色調で新たな空間感覚

A350の機内に足を踏み入れた人は、すぐに客室の心地良い環境にお気づきになるはずです。そこには、A350のために独自開発された配色が大きく影響しています。



ルフトハンザのエンターテイメントアプリで機内エンターテイメントにアクセス

ルフトハンザエンターテイメントアプリでは、お好きな音楽や最新ヒット作をご自宅で前もってお選びいただけるため、機内のお座席についた時からすぐにお楽しみいただけます。



機内ではトップクラスのエンターテイメント

機内ブロードバンド・インターネット、最新ヒット作、スポーツハイライト: ルフトハンザの広範な機内エンターテイメントをお楽しみください。



最新鋭かつ超軽量

A350では、炭素繊維強化プラスチック (CFRP)を大部分に使用していることから、少ない燃料消費量を実現させています。この複合材は、非常に頑強であるとともに軽量であることから、航空機の建造に最適な素材です。

A350 運航による長距離路線：ミュンヘン - デリー、ミュンヘン - ボストン



デリーを発見

インドの首都デリーは、12世紀から18世紀にわたり ムガル帝国の首都でした。その後、英国の植民地統治により、街はその影響を色濃く残すこととなりました。伝統とモダンの交差するエキサイティングな大都市をぜひ訪れてみてください。A350は、ミュンヘンとデリー間を毎日運航します。



ボストンを体験

1603年設立のボストンは、北米で歴史の古い都市の1つに数えられます。典型的なレンガ造りの家がモダンな高層ビル群のすぐ近くに建ち、街は独特の魅力を放っています。ルフトハンザは、2017年3月14日より、ミュンヘンとボストン間をA350で毎日運航しています。



ミュンヘン - A350の生まれ故郷

ミュンヘンは、文化・経済・メディアの中心都市であるだけでなく、ショッピング好きの皆様にぴったりの街です。大都市の中心で、昔ながらの心地良さとカジュアルでくつろいだ雰囲気をお楽しみください。バイエルン州の州都は、ルフトハンザA350の故郷でもあります。